

自動車リサイクル高度化等に資する 取り組みについて



2018(平成30)年9月4日(火)
スズキ(株) 法規認証部

スズキは、自動車リサイクルの社会的ニーズや環境問題に
応えていくため、スズキ財団の科学技術研究助成を活用し、
自動車リサイクル高度化等の基礎研究を広く支援します。



【目的】

基礎研究の中から自動車リサイクル高度化財団の
公募事業に繋げていく

●自動車リサイクル収支と拠出金額

- ・平成29年4月～12月分の収支余剰額4億6千万円を平成30年3月に拠出。
- ・「②個社事業」の取り組みは、スズキ財団の科学技術研究助成を活用する。

	平成29年度	(参考)平成28年度
(1)自動車リサイクル収支(税引前)	5億5,192万円	4億7,253万円
(2)拠出		
①(公財)自動車リサイクル高度化財団	4億5,000万円	0円
②個社事業(自社公益事業)	1,000万円	0円
合計	4億6,000万円	0円

(公財)スズキ財団の概要

【第46回合同審議会】

- ・設立:昭和55年 3月
- ・目的:小型自動車をはじめとする国民生活機械等(国民生活における利便の増進に資する機械)の科学的研究の助成とその成果の普及等を通じてわが国機械工業の総合的な発展と国民福祉の増進に寄与すること
- ・事業内容
 - (1) 国民生活用機械等の生産・利用・消費に関する科学的研究に対する援助・助成
 - (2) 国民生活用機械等の生産・利用・消費に関する科学的研究成果の普及に対する援助・助成
 - (3) 国民生活用機械等の産業或いは研究に従事する外国人の科学的研究、研修に対する援助・助成
 - (4) (1)から(3)に掲げる事業の実施に関連する調査研究
 - (5) 前各号に掲げるものの他本財団の目的を達成するために必要な事業
- ・財団の状況

総資産	123億5,371万円 (平成30年3月現在)
助成件数	平成29年度 65件(昭和55年度～平成29年度累計1,581件)
助成総額	平成29年度 10,041万円(昭和55年度～平成29年度累計18億1,701億円)

【詳細は、スズキ財団ホームページ <http://www.suzukifound.jp/> をご参照下さい】

(公財)スズキ財団の概要

【第46回合同審議会】

・役員22名

(内訳:スズキ及び取引先7名、大学/公的研究機関/スズキ以外の企業14名)

役職	氏名	現職	役職	氏名	現職
理事長	鈴木 修	スズキ株式会社 代表取締役会長	評議員 10名	大西 隆	豊橋技術科学大学 学長
専務理事	守田 義郎	兼事務局長		大日方 五郎	中部大学 教授
理事 8名	足立 芳寛	東京工科大学 客員教授		加藤 百合子	株式会社エムスクエア・ラボ 代表取締役
	井口 雅一	東京大学 名誉教授		川田 善正	静岡大学 工学部長
	小口 泰平	芝浦工業大学 名誉学長・名誉教授		真田 幸光	愛知淑徳大学 教授
	鎌田 実	東京大学 教授		野口 博	静岡理工科大学 学長
	大聖 泰弘	早稲田大学 特任研究教授		矢部 彰	国立研究開発法人産業技術総合 研究所 特別顧問・名誉リサーチャー
	林 寛子	株式会社中日新聞社 取締役 電子電波担当		原山 保人	スズキ株式会社 代表取締役副会長
	廣澤 孝夫	一般財団法人 日本自動車 査定協会 理事長		鈴木 俊宏	スズキ株式会社 代表取締役社長
	古川 勇二	東京農工大学 名誉教授		本田 治	スズキ株式会社 取締役技監
監事 2名	鈴木 勝人	株式会社ベルソニカ 代表取締役会長			
	中村 邦夫	スズキ株式会社 常任監査役			

平成30年6月30日現在

●助成対象となる研究

国民生活用機械等の生産/利用/消費に係る科学技術に関する研究でかつ独創的・先進的又は基礎的・先導的な研究開発課題を対象とし、今年度から「自動車リサイクルに関連する分野の研究」についても広く公募します。

●助成方法

スズキ財団の定款/年度助成プログラムに則り、全国の大学、大学院、高等専門学校または公共研究機関等に常勤する研究者の優れた研究に対し研究助成を行う。

●助成金額/助成対象費用

助成金額	原則として研究1件当たり最大150万円を限度とし、研究内容によって決定。
対象費用	実験設備費(計測器等)、消耗品費(実験材料等)、資料作成費(学会資料等)、旅費交通費、人件費(アルバイト料)、雑費等。

●応募期間 平成30年6月1日より9月30日迄

●助成期間 平成31年4月～平成32年3月の1年間

●審査及び助成決定

スズキ財団の審査委員会にて厳正な審査の上、理事会の正式な承認を得て平成31年2月迄に助成が決定します。

●自動車リサイクル研究助成について

- ・自動車リサイクルに関する研究助成は、自動車リサイクル料金余剰分を用いて今年度から実施します。
- ・この費用は、自動車リサイクルに関する研究助成だけに使用します。スズキ財団は、通常の科学技術研究助成の費用と別々に管理し、残額は翌年度のリサイクル研究助成の原資とします。

【研究助成(例)】

- 1) 使用済みリチウムイオン電池の安全で効率的なリサイクル技術開発等への助成
- 2) リサイクル可能な高分子材料等の開発等への助成
- 3) リサイクル率を高めるため難燃剤等樹脂への添加物質を除去する技術開発等への助成
- 4) その他、上記1)～3)以外の自動車リサイクル高度化等に必要の研究や活動への助成

●研究内容の報告、成果について

- ・「国立情報学研究所の民間助成データベース」に登録
- ・機関誌「財団ニュース」での公開、スズキ財団主催の講演会で発表

(募集要項)

http://www.suzukifound.jp/02program/download/2018_kagaku_youkou.pdf

(国立情報学研究所の民間助成データベース)

https://dbr.nii.ac.jp/infolib/meta_pub/G0000019JOSEI

(財団ニュース)

<http://www.suzukifound.jp/download/>

